

会議顛末書

						記 録 者	主 幹 岡野智倫	
供 覧	市 長	副 市 長	部 長	課 長	課長補佐	主 係	査 長	グループ員
件 名	令和6年3月臨時庁議							
年 月 日	令和6年3月28日（木）							
時 間	午前9時～午後4時							
場 所	3階庁議室							
欠 席 者	なし							
内 容	<p>【審議事項】</p> <p>1 「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」推進事業について</p> <p style="padding-left: 20px;">資料に基づきスポーツ推進課より説明</p> <p>《主な意見・質疑等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロポーザルで委託する期間と内容について伺いたい。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 委託期間については、現在のスケジュールだと令和6年11月を目途に契約を締結し、令和7年3月末までを想定している。事業としては、3か年計画であるため、7年度以降、単年契約とするか2か年契約とするかは、構想を策定していく中で検討を行う。委託内容については、計画策定のほか、本市ゆかりのオリンピックと連携した取組やオリンピック応援事業における取組などを想定している。 → プロポーザルのガイドラインなどを確認の上、事業を進めていただきたい。 ・ 「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」という構想を打ち出すのであれば、例えば、オリンピックを輩出するというような大きな目標を掲げていただきたい。 ・ 人口数千人のまちでもオリンピックを多く輩出している自治体もあるので、そのようなビジネスモデルを参考にいただきたい。 ・ 秋田県能代市を例にすると、バスケットによるまちづくりに以前から取り組んでおり、市内の至る所にバスケットのリングがある。本市において今回の事業を進めていくにあたり、市内の様々なところでクライミングを体験できるようなものをつくることを検討いただきたい。 ・ 野球やサッカーなどの競技人口が多いスポーツ種目が多々ある中で、龍ヶ崎はスポーツクライミングのまちを掲げて取り組んでいきたいということで良いか。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ クライミングのトップアスリートがいる龍ヶ崎だからこそできる取組であり、他にはないまちづくりができると考えている。 <p>《協議結果》</p> <p style="padding-left: 40px;">了承</p>							

2 地域公共交通の再編案について(令和7年4月)

資料に基づき都市計画課より説明

《主な意見・質疑等》

- ・ 運行コストの試算について伺いたい。
 - ⇒ 現在コミュニティバスの費用がおよそ2億円かかっている。再編後は、正式な見積りはまだ取っていないが、コミュニティバスの費用でおよそ1億2千万円、それに2台体制で運用した場合のAI オンデマンド交通の費用を加えると、およそ1億6千万円となる試算である。
- ・ 運転士の増減はどのようになるのか。
 - ⇒ 再編案のとおりとすると、シャトルバス、長戸・白羽線、大宮線、八原線を廃止とするため、4ルート分の運転士が減るが、AI オンデマンド交通で2人の運転士が必要なので、単純計算では2人減ることになる。
- ・ 基本運賃を200円から100円にすることについて、事業者からの意見は出なかったか。
 - ⇒ 先日の地域公共交通協議会に案を示した中では、運賃に対して事業者からの意見は出なかった。
- ・ 公共交通の整理について、コミュニティバス、AI オンデマンド交通、乗合いタクシー(龍タク)の3つに分けて整理をしているが、コミュニティバスにおける循環ルートと枝線を分けて整理をした方が良く考える。循環ルートは3つの市街地を起点に人口集積地や主要施設を中心に結ぶというのが大きな役割で、枝線は循環ルートを補完するものという位置づけだと思う。また、AI オンデマンド交通の役割について、コミュニティバスと同等の役割を担うという表現を枝線と同等という位置づけで検討した方が良く。
- ・ 循環ルートについて、時刻はなるべく覚えやすい毎時何分としてパターンダイヤで運行することにより、利用者の利便性が向上するだけでなく、利用の促進につながるのではないかと考える。
- ・ 再編後の路線図については、公共交通の全体像を分かりやすくするため、民間路線バスの経路もレイアウトに入れて作成していただきたい。
- ・ AI オンデマンド交通の運行エリアを広げる考えはあるか。
 - ⇒ 他の区域でも運行して欲しいとのお声をいただいているが、まずは、実証実験を行った東部地区で稼働を開始した上で、その利用状況等を踏まえ、検討していきたいと考えている。仮に、西部地区までエリアを広げるとなると、既存の公共交通・民間事業者への影響も大きく、それによって将来的に民間事業者が撤退してしまうといったことも考えられる。そのような視点も踏まえ、エリアの拡大については慎重に検討していきたい。
- ・ AI オンデマンド交通運行実証実験は、コミュニティバスを運行しながらの実証であるが、再編後の東部地区において、通勤・通学時間帯にAI オンデマンド交通のみの交通手段で輸送は可能であるのか。
 - ⇒ AI オンデマンド交通に移行しても乗車需要を賄えるという試算が出てはいるが、同様の意見を地域公共交通協議会でもいただいている。乗車定員を増やした車両の検討、運行台数を増やすことなどについて事業者と協議の上、再編案の策定を進めていく。

- ・ 東部地区において通学でコミュニティバスを使っている高校生は、今回の再編後に、住んでいる地域にもよるが1日に往復 600 円かかってしまうことが想定されるため、そういった方々への配慮を検討いただきたい。

《協議結果》

議会等への提示案として了承。今後、議会等からの意見や本日の指摘事項を踏まえた案の修正を検討すること。

3 都市計画マスタープランの進捗について

資料に基づき都市計画課より説明

《主な意見・質疑等》

- ・ 都市づくりにおいて安全・安心が一番上位の理念になる。最上位計画の土地利用構想にならって「都市づくりの目標」における表現方法を再考していただきたい。
- ・ 主要幹線道路沿道地区としている区域と市街地縁辺部ゾーンとしている区域は、主にどのような違いがあるのか。
 - ⇒ 主要幹線道路沿道地区は、既に土地利用が図られている区域であり、例えば、千葉竜ヶ崎線の姫宮の交差点から長沖新田の交差点までの区域が該当する。市街地縁辺部ゾーンは、今後土地利用を図ることができる可能性のある区域であり、例えば、緑町から北側の区域や土浦竜ヶ崎線の馴馬の交差点付近が該当する。

《協議結果》

都市づくりの目標に係る表現の再検討を条件に了承

4 施設管理事務所の今後の在り方について

資料に基づき道路公園課より説明

《主な意見・質疑等》

- ・ 側溝清掃、除草、剪定を民間委託に移行する案について、当該業務を市内事業者において請け負うことは可能であるか。
 - ⇒ 側溝清掃については、民間委託を希望する旨の要望があるため、可能だと考えている。除草と剪定については、市内事業者だけでは賅えない可能性があるため、段階的に移行していく検討を行っているところである。
 - 契約部門や市内事業者と協議の上、社会情勢にあわせて柔軟性をもって取り組んでいただきたい。
- ・ 今後、施設管理事務所の場所をどこに移動させる予定であるか。
 - ⇒ 本庁舎付近に移動させたいと考えているが、具体的な場所は検討中である。また、資材置き場については、引き続き現在の場所を使用したいと考えている。

《協議結果》

了承

5 事務事業の見直しにかかる今後の取組について

資料に基づき企画課より説明

《主な意見・質疑等》

- ・ 今年度で廃止する職員提案制度について、提案の結果に応じて人事評価に最大2点を加点していたものがなくなることによる影響をどのように考えているか。
⇒ 判定区分の境目となる被評価者には影響があることを認識しているが、100点のうちの2点分であることと、能力評価における政策形成能力などの点で、職員の提案力を評価する項目を設定しているため、当該制度を廃止したとしても、職員の能力に見合った評価は担保できると考えている。

《協議結果》

了承

【報告事項】

6 鬼怒川・小貝川サイクリングロードについて

資料に基づき都市計画課より説明

《主な意見・質疑等》

特になし。

7 龍ヶ崎市街路樹維持管理指針（案）の策定について

資料に基づき道路公園課より説明

《主な意見・質疑等》

- ・ 市道の法面の雑草について、近隣住民が善意で草刈りを行っているところがあるが、高齢化してきたこともあり大変だというお声をいただくため、防草シートで遮蔽するなど市で対応を考えてもらいたい。
- ・ 街路樹に関しては様々な意見があると思うが、残してほしいという意見が多いのか、それとも反対に、切って欲しいという意見が多いのか。
⇒ 街路樹がある沿線の住民からは、落葉の清掃が大変だというお声を多々いただいている。特に、高齢化が進んでいる地域からは、市で落葉の清掃を行って欲しいという依頼がある。一方で、散歩中に街路樹を眺めることを楽しみにしているから切らないで欲しいというお声もいただくことがある。
- ・ 地域の市長室において、散歩しているときに落葉で滑るというお声をいただいたことがある。景観も大切だが、住民の安全・安心を考えて対応を検討していただきたい。
- ・ 工業団地付近の街路樹維持管理について、課題などはあるか。
⇒ 低木の剪定を毎年実施しており、高くならないようにしているが、高木に関しては大木化しているところがある。また、下枝の張り出しなどについて沿線の企業から相談を受けることがある。

8 （仮称）長山中学校区義務教育学校開校準備会等について

資料に基づき教育総務課より説明

《主な意見・質疑等》

- ・ 今後のスケジュールについて、校名変更に伴う龍ヶ崎市立学校設置条例改正を令和7年3月に設定している意図は何か。
⇒ 早い段階で校名を周知したいという意図で令和7年3月に設定しているが、今後の開校準備会における検討状況を踏まえ、時期を変更する可能性はある。

9 龍ヶ崎市と市内高等学校との連携協力に関する包括連携協定の締結について

資料に基づき企画課より説明

《主な意見・質疑等》

- ・ 議会において、以前より若者世代との交流を持つ機会をつくるための検討をしており、今回の協定締結を契機に、高校生を交えた意見交換会などを実施したいと考えている。

10 「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」の進行管理及び令和5年度重点目標の実績報告について

資料に基づき各部等の長より説明

《主な意見・質疑等》

<全体>

- ・ 進行管理シートにおける事業評価・分析について、各部等で書きぶりに統一がないため、整理をしていただきたい。

<総合政策部>

- ・ 企画課の重点目標である「政策課題に対する調査研究及び政策提案」について、「台の下開発」に係る調査研究をした内容を共有していただきたい。

<総務部等>

- ・ 人事行政課及び管財課において、今後窓口業務の委託を検討していく中で、コミュニティセンターの職員、学校の用務手、図書館司書なども含めた検討をしていただきたい。

<福祉部>

- ・ 産前産後家事支援事業について、1日の利用時間を2時間までとしているが、1世帯当たりの利用上限40時間（単胎の場合）の枠中で、1日に利用することができる時間を増やすなど、利用の促進につながる工夫をしていただきたい。

<健康スポーツ部>

- ・ 骨髄移植後等再接種助成事業について、申請件数2件で接種件数0件とあるのはなぜか。
⇒ 接種については、間隔をおいて行う必要があり期間を要するため、申請はいただいているが接種がまだ終了していないという状況である。そのため、資料作成段階では0件と表記をしている。

<市民経済部>

- ・ たつこの産直市場について、運営の今後の方向性をどのように考えているか。
⇒ 農産物の販売ルートを確保する観点から、運営を継続していきたいと考えている。オープン当初はおおよそ3千万円の売上だったが、現在はおおよそ1億円まで伸び、農家の出荷者も増えたため、知名度もある程度上がってきている。一方で、売場面積などの改善を要する課題もあることを認識している。

<都市整備部>

- ・ 道路の舗装維持修繕関連の事業について、市公式LINEを通じて道路などの不具合を通報する仕組みを取り入れたため、その旨取組内容に加えることを検討すること。
- ・ 生活環境課の重点目標である「ごみ処理広域化への取り組み」について、プラスチック資源循環法への対応を検討とあるが、市として考え方を早急にまとめていただきたい。
- ・ 生活環境課の重点目標である「食品ロス削減への取り組み」について、事業系食品ロス削減に係る市内大型店を対象としたアンケート調査で、企業が前向きに取り組む姿勢を確認したのであれば、それを後押しする取組を実施していただきたい。
- ・ 下水道課の重点目標である「下水道使用料の改定のための調査・検討」について、現行使用料の改定は必要ない状況と結論付けているが、中長期的な目線で引き続き調査・検討をしていただきたい。

<教育委員会>

- ・ 青少年リーダー育成推進事業について、今後の方向性をどのように考えているか。
⇒ 今年度実施した放課後PLAYキャンプなどで培ったノウハウをプログラムとして構築し、森林公園などの地域ストックを活用することにより、青少年リーダーの育成を推進していきたいと考えている。
- ・ 学校給食センターの重点目標である「学校給食費の無償化」について、多子世帯のみならず、2子世帯への支援も検討していただきたい。

<議会事務局>

特になし。

【その他】

特になし。

要措置事項

情報公開

公開

非公開（一部非公開を含む）とする理由

公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）

（龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当）

年 月 日